

ゆんたくニュースレター

第 25 号

令和 1 年 11 月 10 日

過ぎやすくなってきたと思っていたら、台風19号の襲来で東日本ではたくさんの被害をえました。その後も20号が温帯低気圧に変わったものの雨が降り続き二次災害も起きています。地球温暖化によってこれからは日本中のどこでも災害が起きてきても不思議ではないですね。秋の味覚のミカンを送ってくださった和歌山のUさんは「今年は雨が多すぎてミカンが甘くないけど」とおっしゃっていました。作物はその時期に太陽をしっかりと浴びないと実りが良くないのでしょうか。わがホームでは初ミカンで子どもたちは「美味しい(^^♪」パクパク食べています。お年頃で「お肌のためにもいいしね」なんて言う子も。



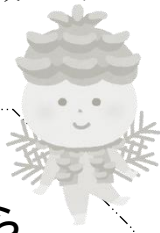
ガバナンス **governance** この言葉よく耳にしませんか？ 「統治」という意味ですが、福祉の分野でも「地域福祉ガバナンス」という言葉で地域づくりを語られます。意味としては福祉的な住民自治をつくらうのでしょうか？ 今「単身化社会」が進んでいると言われていています。少子高齢、人口減少社会をめぐるキーワードには深刻さがあります。そのなかでも地域社会の在り方に重大な影響を及ぼすのは「単身化」なのかもしれません。単身化社会は、世帯から個人を中心にしたつながり方へと変化させます。世帯で構成される自治会はその世帯が単身化していくのです。単身化社会に超高齢社会が加わると、高齢者の行動圏域の狭さから、より身近な福祉活動が求められるようになります。地縁団体が重要になります。自治会は加入者が減少しているとはいえ、防犯や環境問題への対応、地域の多様な暮らしの基盤となっています。しかし、自治会等の地縁団体が、その暮らしの基盤を担いきれなくなりつつあるようです。しかし、それらを安易に行政や企業のサービスとした外部化することは、住民自治を衰退させることにつながっていくのではないのでしょうか？ したがって、地域住民による自らの暮らしづくりのための、新たな公共的な取り組みが求められます。地域のボランティア活動もその一つと考えられます。 月刊福祉10月号より抜粋



ゆんたくホームの ゆんたくさびら

(おしゃべりしましょう)

「ゆんたく」の子たちは、中学生の子をのぞいてアルバイトに励んでいます。社会勉強とお金儲けを兼ねて「腰が痛い」「肩が」なんて言いながらもシフトを予定表に書いています。給料日になったら通帳を見せてもらいコピーして確認しています。この年末には「ゆんたく」「なんくる」合同で旅行を企画しています。旅行の為にもお小遣いは多いほうがいいので、張り切り具合がちがうようです。バイトがあるため、全員揃っての午後6時の夕食がなかなか難しくなってきました。日暮れが早くなっておかずが冷めてしまうのが気になります。早々に風邪をひいてしまったHさんは遅くなったら「ごはん、いらん」とメールしてきますが、早めに帰ってきて一緒にごはんを食べてくれるほうが嬉しいのですが。



なんくるはなくなるいさ〜

(なんとかなるよ〜)

「なんくる」は自立への練習をする場所。したがって入居すると生活費の一部を収めることになっています。一人暮らしをするやちんはらみすでも月末に次の月の分を払うということを決めていきます。でも、やはり払えなくて…と、退所したMさんでしたが、数か月後の先月末にいままで溜めていた入居費を、届けに来てくれたのです。うやむやにしたりせず地道な仕事をして払ってくれたのでした。「意地をみせた」「できるんや」「すごい」とスタッフは喜びの声をあげました。実のところ、仕事に出ることが難しい子もいて、当然、入居費も難しくなってしまうのです。そんな中、Mさんのしたことは、ほんと素晴らしい amazing アメージングなことでした！♡♡♡





らいげつ あんない
来月のキッチンゆんたくの案内

2019年

12月19日（第3木曜日）開催

よてい
予定メニュー

- ・ゆんたくカレー
- ・お楽しみ一品



らいげつ じゆく あんない
来月のゆんたく塾のご案内

2019年

12月	5日（木）	16：00～18：00
	12日（木）	16：00～18：00
	19日（木）	16：00～18：00
	26日（木）	16：00～18：00

★タブレットを使って楽しく学習しましょう



11月のメニュー

- ・ゆんたくカレー
- ・お楽しみ一品



『キッチンゆんたく』もこの11月で4周年になりました。

いつまでできるかな？と思いつつ、^{しこうさくご}試行錯誤？というより^{うおうきおう}右往左往しながら、^{みなさま}皆様のご^{きとうりよく}協力のもと毎月^{かいさい}開催してきました。子どもたちが楽しく^{すがた}食事をする^{ささえ}姿に支えられています。何よりは「おいしかった！」の一言です。ゆんたくホームのMさんが言ってくれた、キャッチコピー「キッチンゆんたくのごはんは“おばさんが作る^{かてい}家庭の味”やな！」「そのとおり！」です。これからも続けられますように!!
マンパワーが^{ひつよう}必要です。ボランティアの^{さんか}参加を宜しく願います。

